

大谷康子の ヴァイオリン賛歌

第8回

<日本>

10 聴衆の皆様とともに
創りあげる
年プロジェクト

第8回のテーマは「日本」。

様々なゲストの方々と〈黎明〉〈発展〉〈融合〉と三部に分けて、
日本のヴァイオリン音楽の歴史を辿ります。



© Masashige Ogata

大谷康子
(ヴァイオリン)
Yasuko Ohtani
violin



© 森野重人

山田武彦
(ピアノ)

Takehiko Yamada
piano



© 清田聡

篠崎史子
(箏)

Ayako Shinozaki
kugo



藤本昭子
(三弦・箏)

Akiko Fujimoto
sangen/koto



© Shige hito Imura

日原藤花維柯
(箏)

Fuji-kaika Hihara
koto



増上寺式師会
(声明)

Zojoji-Shikishikai, shomyo



© masafumi tamara

西本幸弘
(ヴァイオリン)

Yukihiko Nishimoto
violin



新井貴盛
(ヴァイオリン)

Takamori Arai
violin



橘和美優
(ヴァイオリン)

Miyu Kitsuiwa
violin

第1部
<黎明>

伊沢修二：蝶々ほか 小学唱歌集より
ヘルメスベルガー2世：ロマンス
ヒュンテン：夏の名残りのバラ
八橋検校：六段の調べ 他

第2部
<発展>

幸田延：ヴァイオリン・ソナタ 第1番
滝廉太郎/山田耕筰：哀詩〈荒城の月〉を主題とする変奏曲
貴志康一：竹取物語 他

第3部
<融合>

武満徹：妖精の距離
外山雄三：日本民謡による組曲 他

(3部構成、
公演時間2時間30分予定
※休憩2回)

2024 **10.26** [土] 15:00開演 (14:30開場) 全席指定 5,500円 (税込) Hakuju Hall

先行発売日
2024年
6月15日(土)

一般発売日
2024年
6月22日(土)

チケット
お申し込み

Hakuju Hall チケットセンター 03-5478-8700 11:00~17:00
(火~金 ※祝日・休館日を除く)
オンラインチケット予約 <https://hakujuhall.jp>
■ローソンチケット <https://l-tike.com/> ■イープラス <https://eplus.jp/>

プログラムは
こちら



チケット購入

<https://hakujuhall.jp/concerts/detail/3941>

主催：Hakuju Hall / 株式会社 白寿生科学研究所 企画構成協力：伊藤裕太

助成：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京【東京ライブ・ステージ応援助成】

ARTS COUNCIL TOKYO

大谷康子のヴァイオリン賛歌 第8回 <日本>

お客様と一緒に創りあげていく大谷康子の<ヴァイオリン賛歌>第8回は「日本」がテーマ、私が大好きなヴァイオリンを弾けるのも、次のような歴史のおかげです。

1875年、伊沢修二はアメリカに渡りメーソンから音楽教育を学びます。帰国後、彼は音楽取調掛に任命され、メーソンを招き、日本に西洋音楽を導入します。さらに東京音楽学校(現東京藝術大学)の校長となり、1888年にはルドルフ・ディトリヒをウィーンから招きます。ディトリヒの一番弟子とも言つてよいのが幸田延で、彼女から日本のヴァイオリン音楽史は始まったと言えます。今回、明治から、大正、昭和、平成にわたる曲目を取り上げ、意義深いコンサートになります。ゲストに地歌の藤本昭子さん、日原藤花維柯さん、古代ハープ・箏篋の第一人者でもあるハーピスト篠崎史子さん、声明の増上寺式師会の上人様、若いヴァイオリニスト西本幸弘さん、新井貴盛さん、橋和美優さんとの共演により日本におけるヴァイオリン音楽の歴史を辿り、邦楽との発展・融合をお楽しみいただけることでしょう。ご期待くださいね。

大谷康子



© Masashige Ogata

■ 大谷康子 (ヴァイオリン) Yasuko Ohtani, violin

2025年にデビュー50周年。これまでにリサイタルはもとより、N響、モスクワ・フィル、スロヴァキア・フィルなど国内外の著名なオーケストラと多数共演。キエウ(キエフ)国立フィルとは17年以降毎年招聘されている。著書に「ヴァイオリニスト 今日でも走る!」(KADOKAWA)がある。CDも多数リリース。BSテレ東(毎週土曜朝8時)「おんがく交差点」では司会・演奏を務める。文化庁「芸術祭

大賞」受賞。東京音楽大学教授。元東京藝術大学客員教授。東京藝大ジュニア・アカデミー特別教授。(公財)練馬区文化振興協会理事長。使用楽器はピエトロ・グアルネリ(1708年製)。

公式ホームページ <https://www.yasukohtani.com>

公式YouTube「大谷康子のやっこチャンネル」演奏動画続々公開中!

■ 山田武彦 (ピアノ) Takehiko Yamada, piano

東京藝術大学大学院修了、パリ国立高等音楽院ピアノ伴奏科首席卒業。ピアニストとして数多くの演奏者と共演、的確でおおらかなアンサンブル、色彩豊かな音色などが好評を博し、コンサート、録音、放送等の際のソリストのパートナーとして厚い信頼を得る。東京藝術大学招聘教授を経て現在同大学音楽文化学所属(ソルフェージュ分野主任)。

■ 藤本昭子 (三弦・箏) Akiko Fujimoto, sangen/koto

九州系地歌箏曲演奏家。祖母阿部桂子、母藤井久仁江(人間国宝)に師事。1995年、第1回リサイタル開催(全17回)。2001年、「地歌ライブ」開始(全100回)。欧米各国で「地歌公演」多数開催。日本伝統文化振興財団賞、伝統文化ポーク賞奨励賞、芸術選奨文部科学大臣賞、松尾芸能賞優秀賞、文化庁芸術祭音楽部門大賞等受賞。CD「雪墨」「地歌のいろは」が同レコード部門大賞を連続受賞。21年、紫綬褒章受章。22年、「伝承の力 古典の現在」公演開始。現在、正派音楽院講師。(公財)日本伝統文化振興財団理事。「藤本昭子の会」代表。

■ 増上寺式師会 (声明) Zojoji-Shikishikai, shomyo

一縁山流聲明一 大本山増上寺式師会 天台聲明の祖といわれる良忍の「大原流」を源流としながらも、江戸時代に徳川家の庇護のもと独自の発展を遂げた増上寺流の聲明で、その曲調は関東の気風と相俟った壮大な雰囲気を持つものと評されている。明治維新以後一時衰退したが、宗祖七百年御忌を機に「縁山流聲明中興の祖」と仰がれる故千葉満定師により復興され、師の高弟である故津田徳翁師によって伝承、伝授され現在は増上寺式師会にて保持されている。

■ 新井貴盛 (ヴァイオリン) Takamori Arai, violin

東京藝術大学を首席で卒業。第1回イブラ・グラウンド・アワード・ジャパンで審査員全会一致の優勝。審査委員長を勤めたデヴィス・カルノ夫人との対談が弦楽器雑誌サラサーテにて取り上げられ注目を集める。審査員をつとめたヴァイオリニストの川井郁子氏に「昔のレコードで聴く巨匠の演奏にも通じる、艶やかな音色」と絶賛される。カーネギーホールでの演奏会、シチリア島での音楽祭、米イバルビティ国際音楽祭他、ソロと室内楽の分野を主に演奏活動を続けている。

■ 篠崎史子 (箏篋) Ayako Shinozaki, kugo

桐朋学園大学音楽学部を首席で卒業。後、アメリカに留学し、M.グランジャーニ氏に師事。1970年イスラエル国際ハープコンクール3位入賞。72年より「篠崎史子ハープの個展」シリーズを開催。2001年芸術祭優秀賞、中島健蔵音楽賞、佐治敬三賞。05年日本現代芸術振興賞。07年朝日現代音楽賞。12年芸術選奨文部科学大臣賞。13年紫綬褒章。22年草加市文化賞。現在東京音楽大学特任教授、桐朋学園大学音楽学部特命教授。

■ 日原藤花維柯 (箏) Fuji-kaika Hihara, koto

九州系地歌箏曲家 岩田柔柯師に師事。二十五絃箏を二代野坂操壽師に師事。東京藝術大学邦楽科卒業、同大学大学院音楽研究科修了。在学中、アカンサス音楽賞及び同声会賞受賞、宮内庁皇居桃華楽堂にて御前演奏の栄に浴す。ウィーンフィルメンパーとの共演や北京中央音楽院民族音楽祭開幕式にて二十五絃箏演奏を務める。賢順記念全国箏曲祭にて銀賞及び福岡県知事賞受賞。利根英法記念邦楽コンクール【古典】にて最高位受賞。令和4年度文化庁芸術祭音楽部門新人賞受賞。

■ 西本幸弘 (ヴァイオリン) Yukihiko Nishimoto, violin

札幌市出身。東京藝術大学音楽学部器楽科卒業、英国王立北音楽院首席栄誉付ディプロマ取得。英国国営放送などに出演。【VIOLINable】を掲げ、幅広い活動を行っている。現在、仙台フィルハーモニー管弦楽団、九州交響楽団、両コンサートマスター。令和元年度「宮城県芸術選奨新人賞」受賞。ラジオ番組「日立システムズ エンジョイ!クラシック」や「TOHKnet Sound Pizz.」でDJも務める。福岡県AIR事業アドバイザー。

■ 橋和美優 (ヴァイオリン) Miyu Kitsuya, violin

第19回東京音楽コンクール第2位、聴衆賞。第8回仙台国際音楽コンクール第5位。第9回 宗次エンジェルヴァイオリンコンクール 第1位、併せて中部フィルハーモニー交響楽団賞、聴衆賞。ロン・ティボー国際音楽コンクール第5位。東京藝術大学を首席で卒業し、現在東京音楽大学大学院2年に、特別特待奨学生として在籍中。現在、大谷康子、海野義雄、小栗まち絵各氏に師事。使用楽器は、宗次コレクションより貸与された A.Stradivari“ex.Rainville”1697年製。



ご購入時の留意点 ●一度ご予約ご購入いただいたチケットの変更、キャンセルはできません。また、公演中止の場合を除き、出演者・曲目・曲順の変更及びお客様のご都合によるチケットの払い戻しはいたしかねます。●最後列Q列はリクライニング席となります(チケット料金は変わりません)。●未就学児の入場はご遠慮ください。●車椅子でご来場のお客様はあらかじめHakuju Hallまでご連絡ください。●ホールに駐車場はございません。

《お友だち限定》先行発売日よりオンラインでご購入いただけるほか、主催公演情報をいち早くお届けいたします。
友だち追加はこちらから! @hakujuhall

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 1-37-5 TEL 03-5478-8867

〈電車〉●代々木公園駅(千代田線) 出口1より徒歩5分

●代々木八幡駅(小田急線) 南口より徒歩5分

〈バス〉富ヶ谷バス停下車 徒歩1分(渋谷駅西口バスターミナルより10分)

※渋谷63(中野行)、渋谷64(中野行)、渋谷66(阿佐ヶ谷行)、渋谷69(環状循環)

今後の公演テーマ (予定)

第9回 <未来> 未来をつくるのは子どもたち! 大谷康子がヴァイオリンを始めたのは3歳の時、今はつたなくても楽器を学ぶことで広がる世界、感じる心は育まれる。子どもの頃にスター音楽家に憧れたように、この子たちにも「音楽を通して明るい未来を!」。大谷康子が幼稚園生や小学生とも共演する、未来に飛翔する音楽会です。

第10回 <夢。音楽の力で世界をひとつに> 音楽の持つ力で、民族・国境を越えて、世界中を仲良く、ひとつにし、明るい未来を創ろうという感動のフィナーレです。